



チューバ  
**植田 響平**  
[エリザベト音楽大学大学院 在学中]  
V.ウィリアムズ  
チューバ協奏曲へ短調



トロンボーン  
**久保 健斗**  
[愛知県立芸術大学 在学中]  
ダヴィッド  
コンチェルティーノ  
変ホ長調 Op.4



ソプラノ  
**武藤 愛友花**  
[広島大学大学院 在学中]  
ヴェルディ  
歌劇「椿姫」  
～そはかの人か、花から花へ～

新進演奏家育成プロジェクト

# オーケストラ・シリーズ 第61回広島

オーディションによって選ばれた将来を期待される  
音楽家たちが広島交響楽団と夢の共演!  
限りない可能性を秘めた、  
若さあふれるフレッシュな演奏をお楽しみください



ピアノ  
**齋藤 綾**  
[愛知県立芸術大学大学院 卒業]  
ラフマニノフ  
ピアノ協奏曲第1番  
嬰へ短調 Op.1



ヴァイオリン  
**森脇 恵厘花**  
[エリザベト音楽大学 在学中]  
ヴィエニャフスキ  
ヴァイオリン協奏曲  
第2番ニ短調 Op.22

## 2022.2.3[木]

開演18:30[開場18:00]

JMSアステールプラザ大ホール



指揮：末廣 誠



管弦楽：広島交響楽団

全席指定 **2,500円** (税込) チケット発売日 2022年1月6日(木)

ローソンチケット(Lコード: 62358)、チケットぴあ(Pコード: 208-690)、広響事務局

お願い

新型コロナウイルス対策のため、チケットの裏面に  
お名前とお電話番号の記載をお願いしております。

※都合によりプログラム等を変更する場合がございます。  
※就学前のお子様の入場はご遠慮ください。

主催：文化庁、公益社団法人日本演奏連盟、公益社団法人広島交響楽協会  
制作：公益社団法人日本演奏連盟、公益社団法人広島交響楽協会 後援：中国新聞社  
お問い合わせ：広響事務局 TEL.082-532-3080[平日 9:00~17:20受付]



文化庁委託事業  
「令和3年度次代の文化を創造する  
新進芸術家育成事業」







〔チューバ〕

## 植田 響平

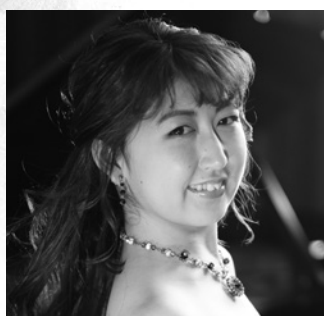
1998年山口県下関市生まれ。市立玄洋中学校、県立豊浦高等学校を経て国立音楽大学を卒業。チューバを佐藤和彦、古本大志の各氏に師事。室内楽を安東京平、井手詩朗、齋藤充、村上俊也、若狭和良の各氏に師事。またBenjamin Pierce、David Zambomの各氏に指導を受ける。第44回下関市ソロコンテスト友永賞、第64回山口県学生音楽コンクール銀賞、第13回チェジュ国際金管打楽器コンクール二次予選出場。大学の卒業演奏会に出演。現在、エリザベト音楽大学大学院在学中。



〔トロンボーン〕

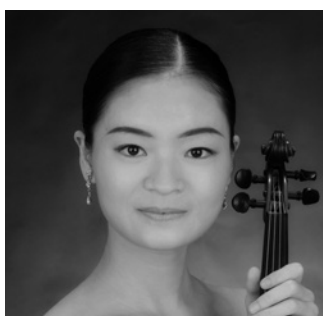
## 久保 健斗

広島県呉市出身。12歳よりトロンボーンを始める。明誠学院高等学校特別芸術コースを卒業後、愛知県立芸術大学音楽学部に入學。現在、4年次在学中。大植英次氏のプロデュースによる「威風堂タクラシックin Hiroshima 2019」のオーディションに合格、ソリストとして演奏を披露。令和2年度、3年度公益財団法人山田貞夫音楽財団奨学生。第54回音楽学部定期演奏会に独奏で出演。その他、学内外を問わず、新曲初演や客演、編曲作品の提供など、幅広く活動している。これまでにトロンボーンを小林泰一郎、稲生健、倉田寛、笠野望の各氏に師事。



## 武藤 愛友花

広島県三原市出身。広島県立三原高等学校を経て広島大学教育学部音楽文化系コース卒業。同大学第7回及び第9回室内楽演奏会、第68回卒業演奏会、令和3年度修了演奏会に出演。学内オペラにて『魔笛』（デーモ）、『カルメン』（フラスキータ）、『子どもと魔法』（火、ウグイス）、『ジャンニ・スキッキ』（ネッラ）等を演じる。スタークラシックアカデミア第2期生。これまでに声楽を亀田敬子、枝川一也、大野内愛の各氏に師事。中丸三千繪、ジュゼッパ・コスタンツォ、各氏の公開レッスンやマスタークラスを受講。また、ピアノを武藤ルリ子、広田裕子、實井陽子、浦谷みどりの各氏に師事。現在、広島大学大学院博士課程前期人間社会科学研究科教育科学専攻教師教育デザイン学プログラム音楽文化教育領域に在籍。



## 森脇 恵厘花

山口県在住。2009年スズキ・メソッド研究科卒業。AICJ中学・高等学校を経て、アーティスト21特別入学生としてエリザベト音楽大学に入学（高校2年修了飛び入学）。現在2年次在学中。在学中に山口県立山口高等学校を卒業。第74回福山音楽コンクールヴァイオリン部門ベストパフォーマンスエリザベト音楽大学賞。第74回全日本学生音楽コンクール北九州大会ヴァイオリン部門高校の部第2位。第21回大阪国際音楽コンクール弦楽器部門Age-Hエスポアル賞。第9回Kアンリミテッド音楽コンクール優秀賞。これまでにヴァイオリンを、故中嶋美子、篠崎永育、細野京子、村元まり子、甲斐摩耶各氏に師事。ヴィオラを田中西氏に師事。



## 齋藤 綾

広島県広島市出身。6歳からピアノを始める。愛知県立芸術大学卒業、同大学院音楽研究科博士前期課程鍵盤楽器領域修了。大学在学中、学内選抜者による名曲コンサート、新進演奏会に出演。ウィーン国立音楽大学マスタークラス受講。ディプロマ取得。同学内開催の受講生選抜コンクールProf. Dicher Competitionにて第1位、入賞者演奏会出演。第35回JPTAピアノオーディション全国大会入選。第29回日本クラシック音楽コンクール大学女子の部第5位。第39回広島市新人演奏会、第42回読売中部新人演奏会出演者。これまでに星野まり子、沢田菊江、小嶋素子、西川秀人、エフゲニー・ザラフィアンツ、イリーナ・チュコフスカヤ各氏に師事。現在、カワイ音楽教室にて後進の指導にあたる。

### 指揮／末廣 誠

1959年、鹿児島県生まれ。鹿児島大学教育学部音楽科卒業後、桐朋学園大学研究科修了。指揮を堤俊作、秋山和慶、ハインツ・レーグナーの各氏の師事。1990年ワイマールで開かれた国際セミナーでハインツ・レーグナーに認められ、最終日のコンサートではイェナ・フィルハーモニー管弦楽団を指揮。チャーリンガー・アルゲマイネ紙で「驚くべき才能、真にプロフェッショナルな指揮者」と絶賛される。1991年、第4回フィテルベルク国際指揮者コンクールで優勝するとともに、オーケストラ特別賞を受賞した。これを機にポーランド各地のオーケストラに客演し、ポーランド放送クラクフ交響楽団では客演指揮者を務めた。これまでに、ポーランド国立放送カトヴィツェ交響楽団、シレジア・フィルハーモニー交響楽団、ウッチ・アルトゥール・ルービンシュタイン・フィルハーモニー管弦楽団、台北市立交響楽団等に客演している。帰国後は群馬交響楽団と札幌交響楽団の指揮者を務めた。日本全国各地のオーケストラにも客演。1999年、ジャズ界の巨匠チック・コリアと共演し、絶大な信頼を寄せられた。多彩なジャンルに精通し広範なレパートリーを誇るが、なかでもオペラやバレエの舞台作品において発揮される深い洞察力、演劇的表現を音楽と結び付ける手腕には定評があり、常に高水準の演奏を引き出す技術は高く評価されている。執筆活動もさかんで、2007年レッスンの友社より『マエストロ・ベンのお茶にしませんか?』を刊行。曲目“快”説と題したプログラム解説やエッセイなど、その機知に飛んだ洒落な文章は多くのファンを得ている。東邦音楽大学では特任准教授を務めた。



### 管弦楽／広島交響楽団

国際平和文化都市「広島」を拠点に“Music for Peace ～音楽で平和を～”を旗印として活動するプロオーケストラ。2017年より下野竜也が音楽総監督を務め、その意欲的な音楽づくりが注目を集めている。クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者、秋山和慶が終身名誉指揮者を務めるほか、ウィーン・フィル、コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデをミュージック・パートナーに、細川俊夫をコンポーザー・イン・レジデンスに、マルタ・アルゲリッチを平和音楽大使に迎えている。1963年「広島市民交響楽団」として設立、1970年に「広島交響楽団」へ改称。学校での音楽鑑賞教室や社会貢献活動にも積極的に取り組み、地域に根差した楽団として「広響」の愛称で親しまれる。  
公式Web <http://hirokyo.or.jp/>

### 新型コロナウイルスへの対応について

会場では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として以下の取り組みを行っております。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



当日はご自宅で検温していただき平熱と比べて高い発熱がある場合や、体調がすぐれない方はご来場をお控えください。ご入場には通常よりお時間がかかる場合がございますので、時間には余裕をもってご来場ください。



会場内では、常時マスクの着用をお願いいたします。



手洗い、消毒の励行にご協力ください。



会場内での不要な会話はお控えいただき、演奏後の「ブラボー」などのお声がけもおやめください。



客席は間隔を空けてお出しいたします。指定の席でご鑑賞ください。入場時、トイレなどは間隔を空けてお並びいただくようお願いいたします。

感染症予防対策のため、出演者への贈り物はご遠慮ください（お預かりは行いません）。